

西洋美術史ゼミ

第一回 イン트로ダクション

発表者 あまずん

発表者について

あまずん

Twitter : @quii_w (メイン)

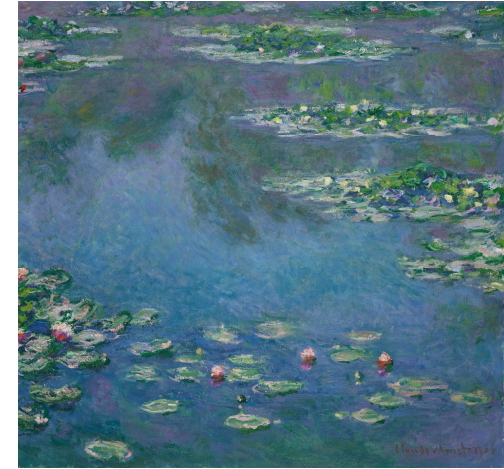
@amazuunsc (サブ)

理系の大学生 (数学専攻) をやっています。

近代以降の美術史や思想史、現代美術について興味があります。



ゼミの目的



- 西洋美術史の流れをつかみ、美術鑑賞などに活かす（特に～近代）。
- 美術を布教する。
- PowerPointの操作やプレゼンを理解する。

ゼミのターゲット

- 美術に興味があるけど、何から勉強すればいいかわからない。
- 歴史（特に世界史）が好き！
- 美術は好きだけど一部の時代しかよく知らない…。
- 美術館/博物館をもっと楽しみたい！
- とにかく新しいことを学ぶのが好き！

上記のような人をターゲットにしています。



ゼミの流れ

- 発表者は固定で行います。
- 美術出版社「増補新装 カラー版 西洋美術史」を一章ずつ読み進め、内容をまとめ発表します。
- 全12章ですが、すべてやるかはわかりません。印象主義の9章まではやりたいと思っています。
- 一回の講義の所要時間は30分～1時間ほどを目安に考えています。
- 1, 2週間に1回くらいのペースでやれたらとは思っていますが未定です。やるときは告知して日程調整を行います。



注意



- 発表者はあくまで独学です。誤った説明は補足してくださると助かります。
- 世界史についても同時進行で勉強します。こちらも補足してくださると助かります。
- さらにゼミ運営は初めてです。発表者固定ではありますが、至らぬ点があれば指摘してください。
- 資料作りの段階で目的は達成しているので、興味のある回だけ来てくだされば大丈夫です！気軽に×を押してください！

全体の構成

• 全十三回の予定ですが内容によって前後するかもしれません。

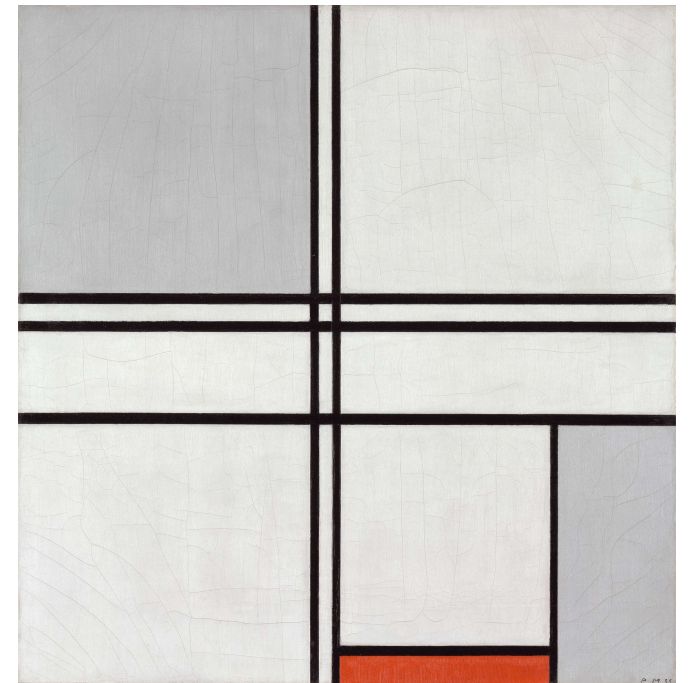
1. イントロダクション
2. 原始美術と古代オリエント美術
3. ギリシア美術とローマ美術
4. 中世I (初期キリスト美術・ビザンティン美術・初期中世美術)
5. 中世II (ロマネスク美術・ゴシック美術)
6. イタリア初期ルネサンス美術/15世紀の北方美術
7. イタリア盛期ルネサンス美術/マニエリスム/北方ルネサンス美術
8. バロック美術/ロココ美術
9. 近代I (新古典主義・ロマン主義・写実主義)
10. 近代II (印象主義・象徴主義・後期印象主義)
11. 現代I (キュビズム・シュルレアリスムなど)
12. 現代II (抽象絵画・ポップアートなど)
13. 現代III (ランドアート・新表現主義など)

講義の前に：美術とは？

- まず始めに、美術とは「感性のみで観るもの」ではありません！
- むしろ、知識があることを前提として楽しむものと言えます。
「教科書で見た作品だ！」という鑑賞の仕方もちろんアリですが、知識を持つことで、時代背景、技法、作者など、様々な要素で作品を観ること、理解することができ、それが楽しさに繋がります。このような楽しみ方は「考察」の面白さに近いので、そのような文化が好きな方にオススメです。

美術とは？：2

右の作品はピート・モンドリアンという作家が描いたComposition(No. 1) Gray-Redという作品です。一見すると高尚でよくわからない「現代アート」的な作品ですが、彼が「新造形主義」という理論に則り、垂直と水平の線、三原色と無彩色の抽象表現によって普遍的な美を追い求めたということを知れば、何をしたいかがなんとなく見えてきませんか？



美術とは：3

また、右の絵は有名なサルバドール・ダリの「記憶の固執」という絵です。本来は硬いものである時計をチーズのようにぐにゃぐにゃにしたものとして描いています。彼がこのような絵を描いた背景として「シュルレアリスム」という芸術運動があり、当時フロイトにより提唱された「無意識」の概念に影響を受け、無意識と理性が統一されるような超現実的な光景を描き出そうとしました。



この写真の作成者 不明な作成者は [CC BY-SA](#) のライセンスを許諾されています

美術について：3

- このように、美術は作品自体と、それにまつわる情報を用いて鑑賞します。とはいえ、そこまで厳密な知識を持つ必要はなく、「何となく知ってる」程度でも十分楽しめます。
- なので、そこまで気負わず、「何となく知ってる」の範囲を広げるくらいの気持ちで見てくだされば幸いです。抽象画も10章からとかなり進んでからなので！

次回の内容

- 原始美術と古代オリエント美術
有名な「ラスコーの壁画」から、
メソポタミア美術、エジプト美術
を当時の情勢と共に概観します。

- 関連するワード：

1. シュメール美術
2. 黄金のマスク

